

# 源氏物語の 舞台をめぐる

いつの天皇の御代であったか、一人の天皇に女御や更衣がたくさんお仕えしていた時代……。容姿端麗で歌舞音曲に優れた光源氏は、みんなの憧れの的。あちこちで女性と契を結びます。今回は、そんなドラマが繰り広げられた舞台の中でも、京都から近い選りすぐりの場所をちょっとだけ紹介したいと思います。(学説には諸説あります。)

## 巻上 若菜

### 仁和寺

平安時代に光孝天皇の発願により創建され、子の宇多天皇がその遺志を継いで完成させたのが仁和寺である。光源氏の異母兄である朱雀院が出家の準備をしてきた「西山なる御寺」は、仁和寺がモデルだとされている。

所在：京都府京都市右京区御室大内33  
 交通案内：市バス「御室仁和寺」下車  
 拝観時間：3月～11月 9:00～17:00  
 12月～2月 9:00～16:30  
 拝観料（御殿）：大人 500円



### 上賀茂神社 (賀茂別雷神社)

かもわけいかづちじんじや

光源氏の正妻で、妊娠中であった葵の上と、光源氏の愛人である六条御息所が、上賀茂神社の例祭である賀茂祭を見物する場所取りをめぐり争った。この「車争い」で辱しめを受けた六条御息所はのちに生霊となって葵の上を苦しめることとなる。

所在：京都市北区上賀茂本山339  
 交通案内：市バス「上賀茂神社前」下車  
 参拝時間：05:30～17:00（祭典等による変更あり）  
 参拝料（境内）：無料



## 葵 巻

### 廬山寺

ろざんじ

現在廬山寺がある土地には、かつて紫式部の邸宅があったとされている。この付近は「中川のわたり」と呼ばれた所で、『源氏物語』に登場する空蟬うつせみの仮住まいであった紀伊守きいのかみの邸宅や花散里はなちりの邸宅もこの付近に設定されている。

所在：上京区寺町通広小路上ル北之辺町397  
 交通案内：市バス「府立医大病院前」下車  
 拝観時間：9:00～16:00  
 拝観料：大人 500円



### 紫式部 ゆかりの地

はみだし  
すてーじ

ピラがじゃまくせ  
⇒裏白のものは結構使えますよ

(工・2 わわわ)  
(恋文を書くのに使うことができます！；編)

# 京都

『源氏物語』の時代は、京都が日本の中心地でした。京都には作品に登場する寺社や古跡が多数残されています。今回はその中から一部を紹介します。

## 源氏物語の登場人物

光源氏：主人公。本作では彼の人生や恋愛模様が描かれる。  
 葵の上：光源氏の正妻。六条御息所の生霊に悩まされる。  
 紫の上：光源氏が北山で見出し、妻とした女性。

ろくじょうのみやすどころ  
 六条御息所：光源氏の愛人。他の女性への嫉妬から生霊となる。  
 夕霧：光源氏と葵の上の息子。優秀な官吏で左大臣まで出世する。  
 柏木：夕霧の親友。光源氏の妻となる女三宮に恋をする。

### 若紫 卷

#### 鞍馬寺

病にかかった光源氏は、北山の「なにがし寺」へ療養に行く。そこで垣間見たのがのちに最愛の人となる紫の上だった。この北山の「なにがし寺」の候補地のひとつとして知られているのが鞍馬寺である。

所在：京都市左京区鞍馬本町1074  
 交通案内：叡山電車「鞍馬」下車  
 拝観時間：9:00～16:30  
 拝観料：大人 300円



#### 野宮神社

娘の姫宮が伊勢の齋宮へ下向することになったため、六条御息所が潔斎（神事などに先立ち、心身を清めること）した所が野宮である。この時六条御息所に会うために、光源氏もこの野宮神社を訪ねている。神社では、源氏物語の絵馬やお守りが売られている。

所在：京都市右京区嵯峨野宮町1  
 交通案内：市バス「野々宮」下車  
 拝観時間：9:00～17:00  
 拝観料：無料

### 賢木 卷

#### 三千院

比叡山の西麓一帯は小野と呼ばれている。源氏の息子・夕霧の親友の妻であった落葉の宮は、母の治療のため小野の山荘に移り住む。夕霧は、落葉の宮を恋い慕って小野を訪ねる。小野の山荘の候補地には諸説あるが、現在の三千院一帯もそのひとつである。

所在：京都市左京区大原来迎院町540  
 交通案内：京都バス「大原」下車  
 拝観時間：3月～12月7日 8:30～17:00  
 12月8日～2月 9:00～16:30  
 拝観料：大人 700円



### 夕霧 卷他

叡電鞍馬線 鞍馬  
至貴船

高野川

大原  
(京都バス)

至京都市街

至清凉寺

野々宮  
(京都市バス)

嵐山  
嵐電嵐山本線

至渡月橋

三条通

はみだし  
すてーじ

オンバリュー券は普通にレジに提示すればいいんですか。まだ当たっていないけど…  
 ⇒支払いの際声をかければよいそうです！ 電子マネーへのチャージも可能とのこと

(法・2 ウマオ)  
 (今月は当選できましたか？；編)

# 宇治

宇治は交通の要衝として古来より重んじられ、平安時代には藤原氏の別荘地として発展しました。このページでは宇治にある『源氏物語』ゆかりの地を紹介します。

## コラム 宇治十帖

『宇治十帖』とは光源氏没後の物語の中でも『橋姫』から『夢の浮橋』までの後半の十巻のことを指します。描かれる時代が移ろうとともに、物語の舞台も京都から宇治へと移ります。物語の中心となるのは薫と匂宮という二人の貴族です。彼らは宇治に住む三人姉妹を巡って恋のさや当てを展開します。

京阪宇治線

夢浮橋 巻他

### 宇治川河畔

『宇治十帖』の物語全体を通じて、宇治川、そして宇治川流域にかけられた橋は無常感を象徴するものとして、印象的に描かれる。宇治川沿いには物語に関連した石碑や像が立ち並んでいる。



### 三室戸寺

光源氏の異母弟、宇治八の宮は死期を悟り、仏道修行のために山寺に籠り、やがて病没する。三室戸寺はその山寺のモデルになったとされている。境内には八の宮の娘であり、薫の恋人でもあった、浮舟の古跡が設けられている。

所在：宇治市菟道滋賀谷21  
交通案内：京阪宇治線「三室戸」下車  
拝観時間：4月～10月 8:30～16:30  
11月～3月 8:30～16:00  
拝観料（平常）：大人 500円  
（あじさい園開園期間中）：大人 800円



推本 巻

### 宇治神社・宇治上神社

薫の親友であった匂宮と浮舟の密会など、宇治十帖中のさまざまな事件の舞台となった八の宮の山荘はこの2社の近くにあったとされている。両社の近くには八の宮の山荘を舞台とする総角、早蕨の2巻にちなんだ石碑が置かれている。

所在：宇治市宇治山田1（宇治神社）  
宇治市宇治山田59（宇治上神社）  
交通案内：京阪宇治線「宇治」下車  
拝観時間：境内自由（宇治神社）  
9:00～16:30（宇治上神社）  
拝観料：無料



▲宇治神社



▲宇治上神社

はみだし  
すてーじ

「おれは、1限を切るぞ～、ジョジョオー」  
⇒「(1限にも出られないとは) 貧弱貧弱う！」

(理・2 トム)  
(君がッ！ 出るまで 1限をやめないッ！；編)

# 須磨

瀬戸内海に臨む須磨の浦（須磨の関）は、古くから月の名所として知られていました。このページでは、光源氏が訪れた須磨の地を紹介したいと思います。

## コラム 須磨への退去

光源氏が須磨に下るエピソードは、『須磨』の巻で描かれます。光源氏は、ある晩あろうことか自分の親族とはライバル関係にある右大臣家の娘に手を出してしまいます。そのことが露呈すると、光源氏は流罪を恐れて、都に愛する妻である紫の上を残し、わずかな従者を連れて自ら須磨へと下りました。

### 須磨 巻

#### 須磨寺



須磨へ下った光源氏は、現在の須磨寺の地に桜を植えた。次の年になって、ちらほらと花をつけた「若木の桜」を目にした光源氏は、都の桜に思いを馳せて涙する。この桜があったとされている所では、今でも若木の桜が可憐ではかない姿を見せている。

所在：神戸市須磨区須磨寺町4丁目6-8  
交通案内：山陽電鉄本線「須磨寺」下車  
拝観時間：8:30～17:00  
拝観料：無料

### 須磨 巻

#### 関守稲荷神社

須磨へと退去した光源氏は、関守稲荷神社で「上巳」の祓え（水辺に出て不祥を祓うこと）を行った。その日の晩、源氏は異形の者と呼びかけられる夢を見ている。須磨の関の跡地とも云われ、境内には歌碑が立ち並ぶ。

所在：神戸市須磨区関守町1丁目3-20  
交通案内：JR神戸線「須磨」下車  
山陽電鉄本線「山陽須磨」下車

拝観時間：随時  
拝観料：無料



### 須磨 巻

#### 現光寺

現光寺は、光源氏が須磨に退去してわび住まいをした場所と伝えられている。そのため、今でも「源光寺」「源氏寺」などと呼ばれている。本堂の襖には源氏物語絵巻を模した絵が描かれている。

所在：神戸市須磨区須磨寺町1丁目1-6  
交通案内：JR神戸線「須磨」下車  
山陽電鉄本線「山陽須磨」下車

拝観時間：10:00～17:00  
拝観料：無料

